

# もくじ

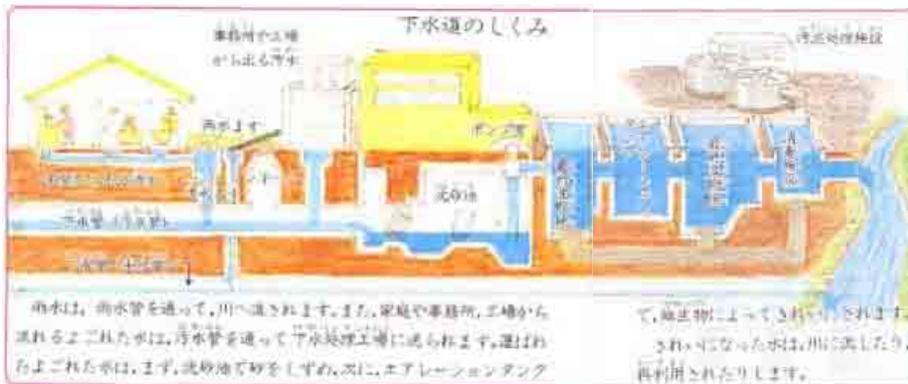
いなわしろ あが  
猪苗代湖や阿賀川、湯川の水はどこから来るのでしょうか。



水のじゅんかん

## ⑤じゅんかんする水

猪苗代湖や阿賀川、湯川の水は、どこから来るのでしょうか。先生が「森は水源としてとても大切なものなのです。森はふった雨をたくわえて、少しずつ流す働きがあります。森を守ることが飲み水をかくほすることにつながっているのです。」と話してくださいました。



下水道のしくみ

雨水は、雨水管<sup>うすいかん</sup>を通して、川へ流されます。また、家庭や事務所、工場から流れるよごれた水は、污水管<sup>おすいかん</sup>を通して下水処理工場<sup>げすいしょりこうじょう</sup>に送られます。運ばれたよごれた水は、まず、沈砂池<sup>ちんさち</sup>で砂をすずめ、次に、エアレーションタンク<sup>あいらーしょんたんく</sup>で、微生物<sup>びせいぶつ</sup>によってきれいにされます。きれいになった水は、川に流したり、再利用<sup>さいりよう</sup>されたりします。水の元を追いかけていくと、水はじゅんかんしていることがわかりました。



「じゃあ、私たちが使ったあとの水は、どうなるのかしら。」



「下水管<sup>げすい</sup>を通して、ほとんどが阿賀川に流されているらしいよ。その水をまた下流の市や町で水道水として使うんだって。」

会津若松市では、阿賀川の水をできるだけよごさないようにするために、神指町(こうざしまち)に下水浄化工場を作り、<sup>じょうか</sup>係の人たちが交代で下水をきれいにしています。

家や工場で使われた水は、どこへ流れていくのか考えてみましょう。

※下水道ができていのは、まだ市の一部ですが、市では、下水道を広げる計画をたてて、工事をすすめています。

## 市の下水計画



掲載情報の著作権は会津若松市教育委員会に帰属します。